

第三次中津市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）【改定計画】 概要版

1 計画改定に際して

- ・国は、2021年10月に地球温暖化対策計画を改訂し、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて気候変動対策を着実に推進していくことを示した。
- ・今般の脱炭素社会の実現に向けた情勢を踏まえ、本市の目標を見直す。

2 計画の基本的事項

- ・目標年度を2030年度とし、本市が行うすべての事務事業及び市が管理・運営する施設を対象とし、積極的な温室効果ガス削減のための行動を示す。

3 温室効果ガスの排出状況

- ・2022度における温室効果ガス排出量は24,737t-CO₂となっており、現行計画の削減目標（長期目標）を達成していたが、2023年度における温室効果ガス排出量は29,951t-CO₂と前年度より増加。

◎増加の主な要因

- ①九州電力株式会社の排出係数が約38%上昇によるエネルギー起源CO₂排出量の増加（1,961t-CO₂の増）
- ②一般廃棄物のうちプラスチックの占める割合の増加（3,407t-CO₂の増）

・温室効果ガス排出量の実績及び現行の削減目標（t-CO₂）

種類\年度	2013	2020		2021	2022	2023		2030
	基準年度	中間目標	実績	実績	実績	実績	削減率 (2013比)	長期目標 (策定時)
全体	33,939	30,325	29,140	31,456	24,737	29,951	△11.8%	25,163
エネルギー 起源 CO ₂ ※1	19,476	16,268	14,030	14,456	12,624	14,500	△25.5%	11,686
非エネルギー 起源 CO ₂ ※2	13,368	12,999	14,094	15,868	11,025	14,432	8.0%	12,472
メタン (CH ₄)	360	342	300	289	285	229	△36.4%	316
一酸化二窒素 (N ₂ O)	731	713	712	843	802	791	8.2%	686
ハイドロフルオロ カーボン (HFC)	4	3	4	0 (0.32)	0 (0.31)	0 (0.31)	△92.3%	3

4 温室効果ガスの排出削減目標

- ・「地球温暖化対策計画の改訂により、「業務その他部門」のエネルギー起源CO₂を2030年度までに2013年度から51%削減することとしている（「業務その他部門」は、地方公共団体の事務事業の大部分が該当）。本計画の新たな目標については、国と同水準の目標設定を行う。
- ・長期目標（2030年度）：温室効果ガス全体で**35.9%削減**（2013年度比）※現行26.0%削減

温室効果ガス排出量の実績及び新たな削減目標（t-CO₂）

温室効果ガス	2013年度実績 (基準値)	2023年度実績	2030年度 (長期目標)	削減率 (2013年度比)
エネルギー起源 CO ₂	19,476	14,500	9,543	51.0%
非エネルギー起源 CO ₂	13,368	14,432	11,363	15.0%
メタン	360	229	229	36.4%
一酸化二窒素	731	791	607	17.0%
ハイドロフルオロカーボン	4	0(0.31)	0(0.31)	92.3%
合計	33,939	29,951	21,742	35.9%

5 目標達成に向けた取組

【重点取組】

エネルギー使用量の管理

設備機器の運用改善

設備機器の導入・更新

【基本取組】

日常業務における取組

再生可能エネルギーの利用

低炭素電力の使用

【基本取組】

取組促進に向けた支援

○取組内容の変更部分

- ・電動車（EV・FCV・PHEV・HV）の導入
- ・会議資料の電子化
- ・電子申請、電子回覧などの積極的な活用

6 計画の推進体制及び進捗管理

- ・本計画は、PDCAサイクルによる計画の進捗管理を行う。